

研修報告書 No.17

研修先： 土佐市民病院

私は、高知県土佐市にある土佐市立土佐市民病院にて1か月間地域医療研修をさせていただきました。

研修内容は、主に外来・病棟・救急当直の場での研修です。普段自分の所属している病院では病棟業務が主であり、救急外来以外では外来で患者さんを診る機会がありませんでした。しかし、今回は自分の外来を持ち、自分で医療面接・診察・検査オーダー・診断・処方・処置という一通りの診療の経験ができました。

内科外来は時期的に発熱の人が多くいましたが、それ以外にも多様な主訴を抱えた人が来院されていました。紹介状をもって来院する大学病院と比較すると軽症な人が多い印象がありましたが、中には入院になるような重い疾患を抱えた人も来院されており、その見極めが難しい場面もありました。また、大学病院では、医療資源が豊富であり、さらに夜間を含めいかなる時間帯でも採血・点滴・画像検査、どの検査でも行うことができます。しかし、地域の病院では、とくに時間外になるとできる検査が限られています。患者さんをまずは対症療法で様子を見てみるのか、それとも検査を行うのか、検査を行うとしたらどこまでの検査を行うのか、個々の患者さんの状態に合わせて、本当に必要な検査は何であるのかを考える力をつけることができました。診断や治療方針で困ったときにはすぐに上級医に相談できる環境にあり、安心して外来業務を行うことができました。

外科外来では、指の切創・猫咬傷・創部感染の人など様々な人を診る機会がありました。外傷に対する処置の経験の足りない私も指導医の丁寧な指導のもと、基本的な処置の方法を身につけることができました。

また、手術や麻酔に参加したり、超音波などの検査を見学させていただいたり、土佐市民病院は自ら希望して行動すればいろいろな経験をさせていただける、大変恵まれた環境でありました。COVID-19 が流行る前には、土佐市民病院の近くのほかの診療所での見学研修も行っていただけたので、今後状況が落ち着いてきたら、またぜひ地域の診療所での見学研修もさせていただければと思います。

1か月を通した高知の医療についての印象ですが、来院される患者さんには土佐市民病院の複数の科にかかっている方が沢山いらっしゃり、さらには家族みんなでかかりつけである人も多くみられ、まさしく地域に根付いた医療なのだ実感しました。また、ワクチン接種や健康診断をはじめとした予防医学、近隣の介護施設や診療所・在宅医療を担う医師との連携といった取り組みがなされており、疾患の治療のみに留まらず地域住民の健康や生活を包括的に支えるという地域医療としての役割を感じました。そのほかには、普段私が暮らしている東京や神奈川といった首都圏と比較すると若い医師は少ないように見え、医師

不足・地域偏在を改めて感じました。しかし、私が今回お世話になったように、高知医療再生機構をはじめとして高知県内で働く医師へのサポートは非常に充実しており、今後若い医師が集まるようになればと思います。

高知の方々ほどなたも非常に優しく、右も左もわからない私を温かく迎えてくれました。また、研修を始める前から最後まで、先生方や病院事務の方、高知医療再生機構の方がいつも手厚くサポートしてくださり、安心して1か月を過ごすことができました。私は地域研修先として高知県を選び、本当に良かったと考えています。臨床研修や後期研修、また私のように臨床研修中の地域医療研修をどこでするか迷っている方には、ぜひとも高知県をおすすめしたいと思います。

最後になりましたが、今回高知県にて地域医療の現場に触れ、携われたことは、私にとって貴重な経験となりました。高知での研修を支援いただきました高知医療再生機構の方々、わからないことだらけで沢山質問をしても優しく答えてくれた土佐市民病院の先生方・スタッフの方々、すべての関係者様に心よりお礼申し上げます。